

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	3	文化・スポーツを通じて市民が元気なまちにします
施策	2	郷土の文化を大切にすまにします
		担当部(統括部) 生涯学習部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
市民が歴史・文化に関心を持ち、大切にして次世代に引き継がれています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市民が市の歴史・文化を学べる機会がある	市の歴史・文化を学び、関心を持つ市民が増えている	市の歴史・文化を学んだ人が次世代に伝える活動をしている	市の歴史・文化を学んだ人が次世代に伝える活動機会が増えている	市の歴史・文化を次世代に伝える人が増えている	若い人に市の歴史・文化が知られている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
歴史・文化が市の魅力となり、市民が気軽に親しむことができます。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	伝統芸能や摂津市指定有形文化財等が市民に知られるような方策に取り組んでいる	伝統芸能や摂津市指定有形文化財等が市民に知られるような方策が進んでいる	市内各地の文化財が、市の魅力として市民に知られている	市内各地の文化財が、市の魅力として市民に知られている	市民が、市の歴史・文化、地域のまつりなどの伝統文化に気軽に親しんでいる	多くの市民が、市の歴史・文化や地域のまつりなどの伝統文化に気軽に親しんでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					
歴史・文化を通じて、人と人とのふれあいができています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	各地域のまつりなどの伝統文化を地域住民に知られるような方策に取り組んでいる	各地域のまつりなどの伝統文化を地域住民に知られるような方策が進んでいる	各地域のまつりなどの伝統文化に地域住民が参加している	各地域のまつりなどの伝統文化が市民に知られている	伝統文化の参加者が増え地域でのコミュニケーションが図られている	歴史・文化を通してコミュニケーションが図られ、人と人とのふれあいができている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
歴史に関する団体の会員数	目標	—	—	—	—	120人	120人	120人	130人	140人	150人
	実績	103人	110人	110人	110人	92人					
歴史に関する講座の延参加者数	目標	—	—	—	—	260人	280人	300人	350人	370人	400人
	実績	366人	336人	309人	242人	312人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

○郷土文化の保存・伝承		平成25年度事業費計				
		204千円				
市民による自主的な伝承活動の支援や伝承ボランティアの育成を行うとともに、デジタルデータなどを活用して、郷土芸能を継承します。また、学校教育の中で、郷土史文化の学習に取り組みます。						
平成25年度事業	文化財啓発事業21千円・文化財調査研究事業183千円(生涯学習課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	郷土芸能保存記録(DVD)の活用の検証	民謡や盆踊り等の郷土芸能を後世に伝えるための伝承者の育成の検討	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを更に育成	デジタルデータを活用して郷土芸能を継承	デジタルデータを活用して郷土芸能を継承
取組実績	郷土芸能保存記録(DVD)「伝えようふるさとの唄を」について、江州音頭の練習用としての貸出を実施した。					
成果	郷土芸能保存記録(DVD)について1件の貸出を行うことができた。					
次年度課題	郷土芸能保存記録(DVD)の貸出実績は低く、次年度以降の展開について再検討が必要である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	副読本を時代背景にあった郷土史文化に改定する	副読本を時代背景にあった郷土史文化に改定する
取組実績	小学3年生が副読本「わたしたちの摂津」を活用し、地域の神社の行事や郷土の資料について学習した。					
成果	身近な行事や実際に使っていた農具などを知り、郷土の歴史が実感でき、興味関心が高まった。					
次年度課題	副読本に掲載されている場所に、遠くの小学校からも工夫して行くことが必要である。					

◎文化財の適切な保存	平成25年度事業費計 7,855千円
------------	-----------------------

生活民具や生産農具などの文化財を集約して適切に保管するとともに、既存施設を活用し、市民と協働で公開展示します。また、埋蔵文化財を発掘し、その破壊と散逸を防ぐため、「文化財保護法」により必要な措置を図るとともに、「摂津市文化財保護条例」に基づき、市内の有形・無形文化財を保護します。

平成25年度事業 文化財保存継承事業6,638千円・埋蔵文化財調査事業1,196千円・文化財啓発事業21千円(生涯学習課)

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	民具・農具の集約分の整理を文化財保護団体等との協働で実施	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示の検討	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	公開展示のPR及び内容の検証	公開展示のPR及び内容の充実
取組実績	民具・農具について整理保存し、また旧教育研究所にて展示することで、活用を図った。					
成果	市民の民具・農具について市の文化として継承を図るとともに、それらの文化について市民へ啓発することができた。					
次年度課題	民具・農具については保管場所の問題から、さらなる整理が必要である。					
計画	明和池遺跡で発掘した埋蔵文化財を市指定文化財として指定し保護	明和池遺跡で新たに貴重な埋蔵文化財が発掘された場合、必要な保護措置	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市指定文化財を保存・活用し、市内の文化財を広くPR
取組実績	明和池遺跡で発掘した埋蔵文化財(土馬)を市指定文化財として指定し、また現地説明会や遺物展示会を開催した。					
成果	市指定文化財に指定することで、市民の文化財保護および継承に対する啓発を図ることができた。					
次年度課題	埋蔵文化財について、単なる保存ではなく活用方法(常設展示・土器とのふれあい学習等)を検討する必要がある。					
計画	ふるさと摂津案内人との協働で民具・農具の整理	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供
取組実績	民具・農具について整理保存し、また旧教育研究所にて展示することで、活用を図った。					
成果	市民の民具・農具について市の文化として継承を図るとともに、それらの文化について市民へ啓発することができた。					
次年度課題	民具・農具については保管場所の問題から、さらなる整理が必要である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画		第6集会所の補修工事及び案内板の設置				
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎新修摂津市史の発行						平成25年度事業費計 15,500千円
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成25年度事業	摂津市史編さん事業15,500千円(総務課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	摂津市史編さん委員会の設置	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業
取組実績	摂津市史編さん委員会を設置し、3回開催した。また史料調査を実施した。					
成果	今後の調査の進め方等について協議し、摂津市史編さん事業計画概要を決定した。					
次年度課題	—					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

ふるさと摂津案内人						平成25年度事業費計 21千円
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成25年度事業	文化財啓発事業21千円(生涯学習課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	ふるさと摂津案内人が生涯学習大学や文化財講座や出前講座の講師役を務める機会を拡充	ふるさと摂津案内人が生涯学習大学や文化財講座や出前講座の講師役を務める機会を継続	ふるさと摂津案内人を養成し、摂津の歴史や文化を伝える講座の講師役として活躍する機会を拡充	ふるさと摂津案内人を養成し、摂津の歴史や文化を伝える講座の講師役として活躍する機会を拡充	ふるさと摂津案内人が主催し、市民の学習機会を提供	ふるさと摂津案内人が主催し、市民の学習機会を提供
取組実績	ふるさと摂津案内人と「ふるさと摂津講座」の講座数の増加について協議した。					
成果	ふるさと摂津講座開催日数が、平成22年度5日から平成23年度6日と増加した。					
次年度課題	ふるさと摂津案内人の講師が固定化されているため、講師の養成が必要である。					